

この山に登ろう⑧

けなしやま
毛無山 1082.5m

おおぐれ
北広島町大暮

広島県山岳連盟 事業部長 **松島 宏**



ブナに登る

毛無山は全国各地にたくさんあります。頂上が伐採されると、こんな名前がつくのでしょうか。今回は旧芸北町の大暮にある毛無山です。阿佐山山塊、阿佐山の南に位置します。頂上のブナ林が素晴らしく、けっして毛無しではありません。毛無山はアイヌ語がルーツで、ブナの鬱蒼とした森の山という説もあります。わんぱく登山部の一番人気の山です。小学生達が大好きな理由は登山口の田んぼ（写真1）にイモリやオタマジャクシ、カエルがいること、頂上が広くて遊べるこ

と、手軽に登れるブナがあること等です。バスの便数がすくないのでマイカー利用が一般的です。加計か戸河内経由で国道186号、県道40号からだ豊平経由で国道433号、県道40号です。大暮の養魚場の看板が導いてくれます。時計回りに毛無山を1周するコースを紹介します。

登山口の表示は大暮養魚場の真東の道路にあります。車も手前に数台置けます。田畑の上、農家の倉庫の前を通りながら竹林を抜けて約20分で姥御前神社（写真2）に到着し

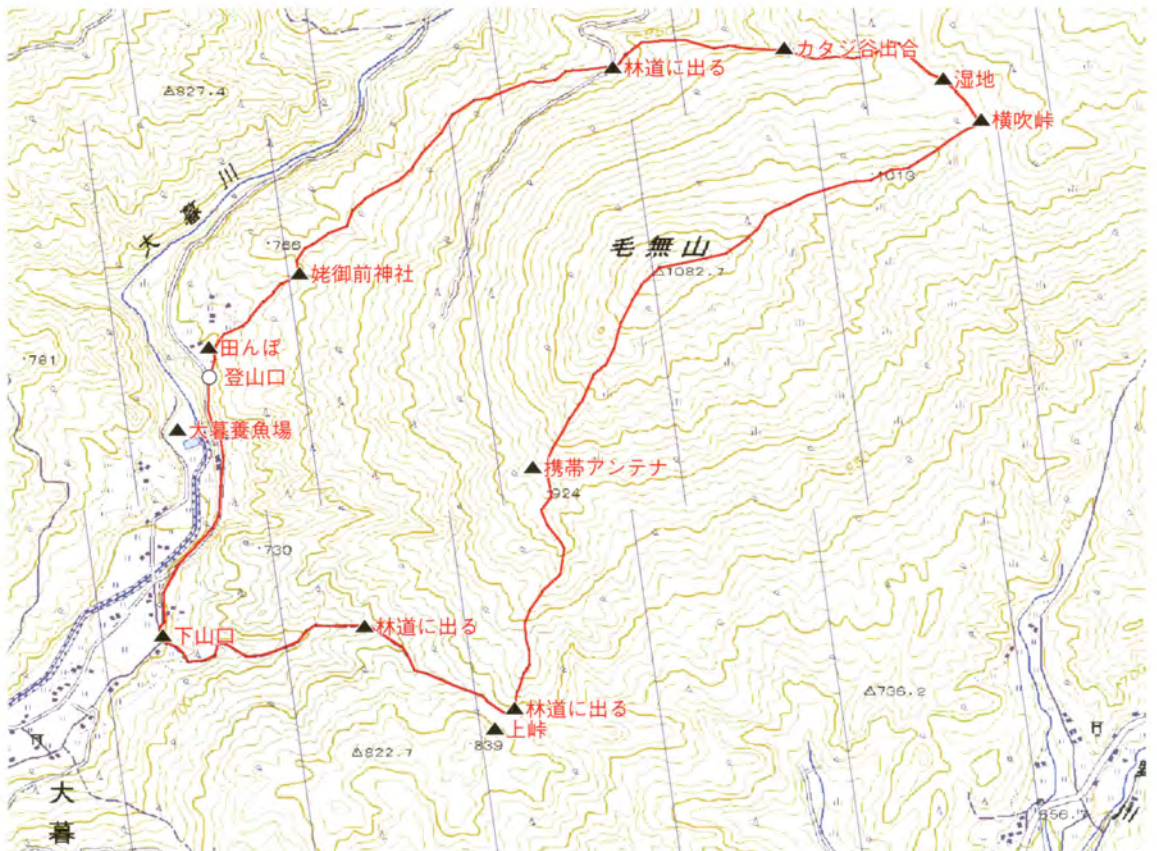




写真1：登山口の田んぼ



写真2：姥御前神社



写真3：頂上

ます。鬱蒼とした森が続きます。毛無山の山腹を横切り、北上しながら高度を上げます。途中小さな岩塊が谷沿いにあり伏流水の音がして不思議な感じです。標高830mで林道に出ます。また、山道に入り尾根を越えてカタジ谷に入ります。この付近は、素晴らしいブナとミズナラの広葉樹の森です。木も大きく、原生林の様相があります。谷の出会いから毛無山頂上の北に上るルートもあります。今回は谷を渡り人工林を経て横吹峠(980m)に向かいましょう。途中湿地帯がありますので泥に足を取られないように気をつけてください。この峠は大暮と高野を結ぶ生活道で、横吹道と呼ばれて昔は往来道であったようです。峠から左(北東)に向かえば中の丸見山(1079m)、二十丁峠(1040m)を経て阿佐山(1218m)へ2時間で到達できます。横吹峠から右(西)に戻るように頂上を目指します。頂上直下まで右(北)が人工林、左(南)が自然林、明るさのまったく違う対照的な尾根を緩やかに登っていきます。約20分で頂上

に到着です。頂上はいつまでもいたいような素敵な空間です(写真3、4、5)。眺望は東側のみで椎谷山方面が見えます。下山は1時間少々でできますので頂上でゆっくりしてください。そこにいてだけで癒されます。

下山ルートは登ってきた道とは反対側の南から南西に降りていきます。素晴らしいブナ林です。30分で924mの標高点、携帯アンテナにつきます。林道が上がってきています。

また、山道に戻り20分で上峠です。ここも新しい林道ができ、林道に下りて右(西)に100m戻り熊出没注意の看板(写真6)から再び山道に戻り下山を続けます。谷沿いに古くて荒れた往来道を下りると再度林道に出ますので左(西)に下りて15分で大暮に下りてきます。道路を10分北上すれば登山口に戻れます。春、秋がおすすめですが、夏でも森が鬱蒼としているので暑くはありません。冬もスノートレッキングに最適です。ですから1年中登れますね。

(まつしま ひろし)



写真4：頂上で遊ぶ



写真5：頂上のブナ



写真6：上峠